

リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名中学校

- 【取組内容①】 **「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」**
・生徒自身の考え方を学習支援ソフトで共有、それを基に協働的な学びの充実に繋げていく



【取組内容①】

2学年道徳（5年研/互見授業）において
GIGA端末を活用した授業が行われた。

まずは授業の導入部分で端末を活用してアンケートを実施。（学習支援ソフト・アンケート活用）

本時の「めあて」に対する個々の考え方を共有し、後半の授業の展開を促していく。

生徒個別の考え方から、他者の考え方に触れることで自分の考え方を見直したり、比較することで個別の学びを更に深化させていく取り組みがなされている。

電子黒板にてアンケート内容を即座に共有。そうすることで、連続的な学びの確認が出来ると思われる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名中学校

- 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」
- ・生徒自身の考え方を学習支援ソフトで共有、それを基に協働的な学びの充実に繋げていく



- 【取組内容①】
グループでの討論、発表および振り返りを学習支援ソフトにて提出。

現在、学校全体として端末を活用した授業の取り組みを推進している。以前は紙媒体のプリントも端末を活用することで、授業の効率化を図ったり、瞬時に答えを確認・共有することが出来るので、他者の考え方にも触れることが可能となった。

互見授業を通して、他教師の授業内容を見るだけでなく、端末の使い方や生徒の考え方も可視化できるので、そういう機会も創出出来ているといえる。

授業開始のアンケートから振り返りまでの生徒の意識変容を可視化できることは、教師のみならず、生徒間の学びにも大きく影響すると思われる。

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」
・大学と連携し防災教育に関するオンライン授業を行う



【取組内容②】

琉球大学医学部保健学科と連携して避難訓練に対するリモート授業が行われた。

避難訓練の主旨としては、伊是名島における避難訓練計画の策定及び避難行動支援者体験等多岐に渡り、その避難訓練の導入として琉球大学医学部保健学科の関口准教授のリモート授業が行われた。

2学年は職場体験の際、事前に琉球大学に向き、液状化再現実験や津波再現実験を見学したあとだったので、リモート授業の内容の理解が早く、準備して頂いたクイズ形式の授業もスムーズに進めることができた。

琉球大学からも2名サポートで来校され、円滑なリモート授業が可能となった。

【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」
・大学と連携し防災教育に関するオンライン授業を行う



【取組内容②】

津波のメカニズムや伊是名島のハザードマップの確認など、専門家による授業はとても分かりやすく、島内では得られる知識ではないので、貴重な時間となった。

その翌日は実際に防災訓練が行われ、前日の導入がしっかり行動として訓練を行うことができた。

防災授業ワークシートを準備し、端末を介して生徒に一斉に配布(アンケート形式)、解答確認しながら個々の防災に対する考え方を集約。琉球大学とも共有し、生徒の防災意識の変容を確認できた。

島内だけの教育資源には限界があり、今後もオンラインで専門家を招聘しながら、様々な学びに触れさせていきたい。

- 【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・授業におけるICT活用を推進していくため、外部講師による教員研修を行う



【取組内容③】

校務の効率化を目指すべく、ICTを活用を推進していくため、島外より講師を招聘して、教員向け校内研修が行われた。

校内では授業における協働学習支援アプリの活用を推進しているので、まずは復習を兼ねてGIGAスクール構想の概要を確認。授業支援や校務支援で使われるアプリ紹介からスタートし、研修教材や参考資料の確認を行いながら研修がスタート。

初心者もいたので、まずは触ってみることを念頭に研修開始。

学習支援ソフトにて出来ることの確認、双方向授業や思考の可視化（シンキングツール）を紹介して頂きながら、授業ノートの作成を行い、慣れている教師がサポートしながら進行。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

伊是名村立伊是名中学校

- 【取組内容④】「校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修」
・授業におけるICT活用を推進していくため、外部講師による教員研修を行う



【取組内容③】

後半は学習支援ソフトの実習としてテストとシンキングカードを活用とした研修に切り替え、授業で活用する際の困りごとやQ&Aを共有しながら進行。

現機能だけでは対応できないこともあるが、使ってみて慣れていくことも一理ある、ということで各教師で授業ノートを作成したり、カードを作成して共有したり、と協働的な研修が行われた。

研修後は、積極的に学習支援ソフトを活用した授業が行われるようになり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる授業が展開されている。

今後も継続的に校内研修や職員会議でも活用できるように推進していくよう努めていく。